

100 周年記念大村文子基金

2026 年度 第 20 回「女子美ミラノ賞」募集要項

■大村文子基金とは

女子美術大学 100 周年記念事業のひとつとして、ノーベル生理学・医学賞を受賞した本学名誉理事長 大村 智 博士夫妻による多大なる寄付をもとに設立しました。この基金は、在学生・卒業生の美術活動、制作・研究活動の奨励を主な目的としています。本学ではこの基金を、新しい美の創造者、探求者の育成を支援する女子美の文化事業として、また日本文化、芸術の創造と発展の一翼を担う、文化貢献の一つとして運営しています。

■女子美ミラノ賞とは

本学卒業生・大学院生を対象として、国際的な芸術文化を吸収し、広い視野を持って世界的な総合芸術の分野で活躍できる人材育成を目指した賞で、女子美術大学とミラノのブレラ国立美術学院との学術交流協定に基づき、6 ヶ月間ブレラ国立美術学院へ研究員、留学生として派遣されます。

受賞者には、副賞 70 万円が授与されます。

「ブレラ国立美術学院」

ブレラ国立美術学院 はイタリアでは最も国際化の割合が高い教育機関として、850 人以上の外国人を含める約 4,000 人の学生を有しています。1776 年の設立以来、人文科学、芸術にわたる分野において多数の芸術家を輩出しています。創作活動、文化理解等の授業とコミュニケーション通じて、グローバルな視野を持ち、想像力や専門技術を身に付けて、制作・研究活動に活かすことを目的としています。

- 応募資格 ①本学卒業生・修了生（大学院、芸術学部、短期大学部（専攻科含む））または大学院在学学生（＊1）で、6 ヶ月間ミラノに滞在し、ブレラ国立美術学院で研究・留学が可能なこと。
- ＊1：大学院在学学生は、次頁「大学院在学学生が応募する場合の注意事項」を確認してください。
- ②身体的・精神的に健康な状態であること。
- ③イタリア語検定試験で B2 以上のレベルであること。または、同等のレベル以上であること。なお、イタリア語の能力向上を強く推奨します。
- 受入課程 第 1 レベル（日本の高校卒業）または第 2 レベル（日本の四年制大学卒業）または修士
- 対象分野 研究、留学可能な対象分野は、原則として、絵画、彫刻、版画、装飾、舞台装飾、プロダクトデザインです。
- ※「装飾」は室内、野外の装飾から現代美術、「舞台装飾」はスカラ座の伝統を踏まえた実践的な舞台装飾です。
- ※「ファッションデザイン」、「修復」、「写真」は現地受入が定員制のため対象外です。
- ※上記以外の対象分野を希望する場合はお問い合わせください。
- ※卒業生・修了生は、在学時の専門分野と同一分野である必要はありません。
- 賞 内 容 ①ブレラ国立美術学院において正規授業科目（実技・演習系又は学科系）を、1 セメスター（1 学期）の間履修し、6 ヶ月間の研究・留学を行う。（ブレラ国立美術学院の授業料を免除）
- ②副賞 70 万円
- ※6 ヶ月間の滞在が出来なくなった場合は受賞を取り消すことがあります。（副賞の返還を含む）
- 受賞者へのサポート内容
1. 住居は借り上げマンションの家賃を補助します。
 2. ご本人の負担費用：光熱費・水道料金・電話代・管理費・その他の住居費、国際航空費、日本国内交通費、現地交通費、渡航費、食費、生活費、教材費、海外旅行傷害保険、ビザ取得手数料、その他個人に帰する費用など任意の費用
 3. 派遣後、研究成果を発表すること。なお、発表の方法は問わない。
 4. 広報・宣伝の一部サポート
- 受賞者数 1 名 （該当者のない場合があります） ※配偶者の同伴は認めません。
- 派遣期間 2026 年 9 月下旬～2027 年 3 月下旬（6 ヶ月間）
- ※派遣期間には授業開始（10 月）までの準備期間を含みます。
- 特記事項 海外渡航制限等の状況によって、派遣期間の延期または期間の変更等が生じる場合があります。
- 応募受付 2025 年 6 月 11 日（水）～ 6 月 26 日（木）必着
- 選考方法・日程 第 1 次選考（書類選考）
- ※応募者多数の場合、書類審査により一次審査を行い、一次審査合格者に対し面接審査を行う場合があります。

第2次選考(面接審査) : 2025 年 9 月 5 日 (金)

※イタリア語のリスニング試験を実施する場合があります。

※作品をご持参いただく場合があります。

※選考結果は 9 月 11 日 (木) に電子メール/郵送予定。

□ 授 賞 式 2025 年 11 月～12 月 ※女子美術大学 杉並キャンパス

- 応募書類 ①履歴書
 ②これまでの制作・研究活動一覧
 ③滞在目的: レポート 800 字以内
 ④現地での研究活動日程
 ⑤ポートフォリオ (含 CD、DVD) または 論文集 (論文要旨 1,000 字程度添付)
 ⑥外国語能力を示す証明書

※次ページの「応募書類に関する注意事項」をよく読み、準備してください。

◆大学院在学が応募する場合 (留学生として派遣) の注意事項

- 応募資格 上記の応募資格①～③に加え、以下の条件を満たすこと。
 ④当該課程に 1 学期以上在学し、留学期間の前までに原則として 4 単位以上を
 修得していること。
 ⑤保証人の同意が得られること。
 ⑥研究室の指導教員の許可が得られること。
 ⑦本学の学費を全額納入すること。
- 応募書類 上記の応募書類①～⑥に加え、以下の書類を提出すること。
 ⑦海外留学許可願兼保証人の同意書
 ⑧所属研究領域が発行する推薦書
 ⑨連絡先シート
- 学位申請 派遣年度が修了予定期の場合、派遣時期は学位申請時期と重複するため、学位申請
 ができないことから、原則、半年または 1 年間の修了延期となります。
- 履修・単位 ・所属研究領域と派遣先の分野が同種であれば、派遣先での単位修得科目を本学で単
 位認定することがあります。ただし、演習系または講義系の科目は、原則として単
 位認定はできません。事前に必ず教育支援センターへ確認してください。
 ・次年度の本学後期授業科目は履修登録できません。事前に必ず教育支援センターへ
 確認してください。
 ・本学で通年開設されている授業科目は、帰国後に同一授業科目を継続して履修する
 ことができます。事前に必ず教育支援センターへ確認してください。
 ・教職課程、学芸員養成課程を履修している方は、関連科目、教育実習、介護等体験、
 博物館実習等の履修方法について、事前に必ず教育支援センターへ確認してくださ
 い。
- 終了報告 留学報告書に加え、留学期間を終了したときは、留学終了届、ブレラ国立美術学院が
 交付する修了証明書を学長へ提出してください。

□ その他

1. 派遣期間中は研究・留学に専念する義務がありますので、下記の理由以外による一時帰国は認められません。
一時帰国する場合は、事前に本学に相談してください。無断で帰国された場合は女子美ミラノ賞受賞を取り消すことがあります。(副賞の返還を含む)
 - ①家族・親族の結婚式、葬儀等の慶弔事や受賞者本人の健康上の理由、家族の急病等緊急時。
 - ②受賞者本人の研究内容に深く関連し、本人のキャリアアップにつながるような展覧会等に参加する場合であって、本学が承認した場合。
(原則1回。ただし、自らが企画する個展などを理由とする一時帰国は認められません。)
2. 受賞後、イタリア語または英語の応募書類、作品写真または論文要旨を提出していただきます。
3. 渡航・制作・研究に必要な情報収集、ビザ等の申請手続き・準備等は、本人が行ってください。
4. 渡伊にあたり、海外留学保険に自己負担で加入してください。
5. 帰国後、2ヶ月以内に報告書を本学に提出してください。
6. 派遣期間中の現地での授業はすべてイタリア語で行われます。渡航前にイタリア語の授業を履修する等、イタリア語の能力を向上させることを強く推奨します。渡航までに十分習得してください(個別の質問等は英語でも可能な場合もありますが、英語を話せない教員もいます)。
7. プレラ国立美術学院が条件を満たしていないと判断した場合、受賞を取り消すことがあります。(副賞の返還を含む)

□ 応募書類に関する注意事項

- 応募書類①～④は本学所定用紙を使用してください。本学ウェブサイトからもダウンロードできます。やむを得ず各自で作成する場合は、同じフォーマットで作成してください。
- 提出方法は郵送または持参とします。なお、郵送の場合は到着確認のため、発送日と氏名を明記の上、応募書類を郵送した旨をメールでご連絡ください。書類が到着しだい折り返し確認メールを配信いたします。
- 作品の現物、推薦状などの提出は受け付けません。ただし、大学院在学学生は所属研究領域が発行する推薦書の提出が必要です。
- 「女子美パリ賞」「女子美ベルリン賞」との併願はできません。
- 「女子美制作・研究奨励賞」との併願は可能ですが、提出書類はそれぞれに必要です。ただし、「女子美ミラノ賞」の受賞が決まった場合は、「女子美制作・研究奨励賞」は対象外となります。
- 応募書類(ポートフォリオまたは論文集を含む)は、選考後返却します。ただし、受賞者については返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。また、海外在住の方へ書類を返却する場合は国内連絡先住所へ返送いたしますのであらかじめご了承ください。

● 履歴書

生年月日	西暦で記入してください。
学歴	高等学校卒業以降、最終学歴まで西暦で記入してください。
職歴	西暦で記入してください。長期アルバイトも含みますが、担当した職務を記入してください。
希望する入居期間	2026年9月～2027年3月で支障のある場合のみ記入してください。
語学力	該当する箇所を○で囲んでください。
語学関係の資格等	語学検定のレベル等を記載できる方は記入してください。
併願	「女子美制作・研究奨励賞」との併願の有無を記入してください。

● これまでの制作・研究活動一覧

これまでの作品制作や研究活動およびそれらの展示・発表などについて記入してください。

● 滞在目的

ミラノの滞在目的について、要約200字以内、本文800字以内で記入してください。

● 現地での研究活動日程

ミラノ滞在中の制作・研究活動について、どのように計画しているかがわかるように記入してください。

● ポートフォリオまたは論文集

・ポートフォリオはA4ファイルまたはA3ファイル1冊とします。なお、A3ファイル提出でミラ

ノ賞受賞決定の場合は、本学相模原図書館での保管の関係上、A4ファイルを改めてご提出いただきます。

- ・ファイルの提出に加えてCD、DVDを添付する場合、作品は3分以内とし、コンテンツを用紙一枚（A4またはA3ファイル判）にプレゼンテーションしてください。また、OS、対応ソフト、バージョンについても記載してください。
- ・論文集の場合、論文要旨1,000字程度を添付してください。

● 外国語能力を示す証明書

外国語能力を証明する書類がある方は証明書のコピーを提出してください。

※(例) 実用イタリア語検定合格証明書、CILS イタリア語検定認定証等の合格がわかるもの

□ 個人情報の取り扱いについて

- ・応募者の個人情報については、選考とそれに必要な諸連絡の送付に使用いたします。
- ・受賞者は、本学広報媒体（印刷物、電子媒体含む）・授賞式配付資料及び女子美術大学同窓会広報媒体（印刷物、電子媒体含む）に氏名・略歴・受賞作品画像・顔写真等を掲載いたします。受賞者のポートフォリオ、論文要旨は、大村文子基金授賞式、および本学相模原図書館で本学関係者・学生等が閲覧できるよういたします。

※ 応募者は上記の条件に同意したものとみなします。

□ 応募書類提出先／問合せ先

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 学生支援センター「女子美ミラノ賞」係
TEL : 042-778-6614 / FAX : 042-778-6636 / E-mail : ecp-c@venus.joshibi.jp